

# はばたけ

第73号

2007年4月8日発行  
栃木障害者の自立をめざす会  
会長代行 小島 幸子  
事務局：〒328-0003  
栃木市大光寺町 347-2  
Tel 0282-29-6111

私たちは障害者が生まれた地域で生き生きと働き生活していける村作りをめざします。

## 会長あいさつ

会長 小島 幸子

花の便りも賑やかな今日この頃、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか？さて、すでにご承知の方もいらっしゃると思いますが、この度、社会福祉法人なすびの里において、正職員の多くが退職を申し出るという異常な状況が発生し、混乱の收拾を早急に図るよう理事長宛に要望書を提出いたしました。理事長の中山全央氏は、自立をめざす会の初代の会長でありその強力なリーダーシップでなすびの里の礎を築いてきた一人です。現在も事務局長の職にあり、また施設長の渡部眞江氏も役員の一人名であります。要望書を提出するにあたり、中山・渡部両氏を交え役員会で討議を重ねましたが、結果多数決によって提出を決議しました。本来ならば、緊急総会を開催し会員の皆様におはかりするところではありますが、理事会、評議員会の期日に間に合わせ、なによりも職員の退職により仲間の通所が困難になるという事態だけは回避するため、総会について第二の議決機関である役員会で決めさせていただきました。その後、理事による事態の收拾が行われており4月29日の総会には経過報告をいただく予定であります。

今回の事で各方面の方々からご心配をいただいております。ある方からは、「残念でならないです」と告げられました。障害者の親を中心に地域の方々を巻き込み、大運動の末出来た社会福祉法人は、全国的に見ても珍しいと聞いております。しかし、自立をめざす会は設立20周年を過ぎ組織疲弊を起こしていることも事実であります。一方、障害児を持つ若いお父さん、お母さんは福祉サービスが向上してきたこともあってか我々のように休日を返上しバザー活動をして、障害者も生まれ育った地域で暮らしていこうという運動に興味をもつ人が少なくなっていることも事実としてあります。このような情勢を踏まえ、今後の自立をめざす会の方向性を見直す時期なのかもしれません。総会には、ぜひ多くの皆様に来ていただき忌憚のない意見をお聞かせいただければと願っております。

まだ、なすびの里の土地がうっそうとした林だった時、私は、ここに親の願いのこもった理想郷ができると信じ自分自身の時間を随分費やした9年間です。設立当時の先輩にはおよびませんが、自立をめざす会、なすびの里には、私の思い入れがあります。これからも障害者のことを第一に活動して行きたいです。どうぞ、皆様のお力をいただけますようによろしくお願いいたします。

## なすびの里仲間発表会

去る2月24日（土）なすびの里食堂ホールにおいて第3回仲間発表会が開催されました。

これまでの発表会と違い、今回はシンポジウム形式で行われました。はじめに施設を利用している仲間3人から現在の状況や将来の夢についてのレポート発表がなされ、それについて行政、施設関係者、保護者が討論を行う方式です。

仲間からは、就職して給料をたくさん貰い親から独立したい、結婚もしたいという夢やラーメン屋さんを開いて親孝行をしたいという夢、趣味のピアノでコンサートを開きたい等々…たくさんの希望や夢が語られる一方で、過去の就職先での厳しい現実や社会に出た時の心無い人々の視線や言葉に傷つけられた等悲しい現実も語られました。

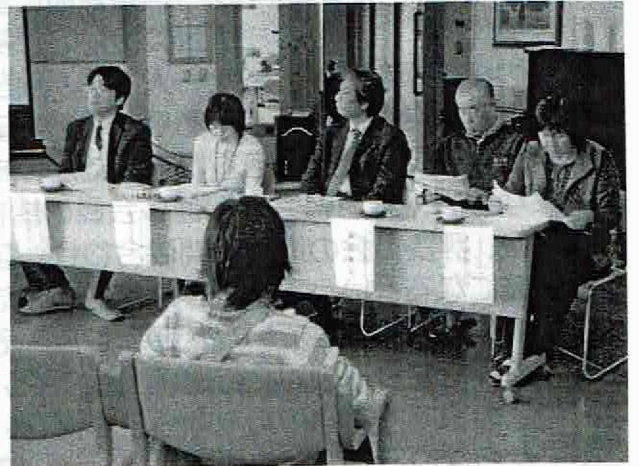
それに対しシンポジストからは、昨年から施行された障害者自立支援法により新たな自己負担が求められる中、どのようにしたら仲間たちに高い給料を払えるのか、また自分の家でヘルパーや施設職員に支えられながらひとりで生活している障害者の実態、行政としても利用者一人一人の要求に応えられるよう全力を尽くしたい等貴重な意見が出されました。

限られた時間の中でまだまだ聞きたりない、話し足りない部分もありましたが

参加された保護者、関係者、利用者たちは一様に真剣に聞き入っていました。

シンポジウム後は、今年度から始まったいちごの食べ放題。パンやうどんの試食、また仲間たちの合唱で楽しく盛り上がりました。

最後になりますが、宣伝が行き届かなかったのか？お客さんがちょっと少なかったのが残念でした。



## “ 妙唱寺”

谷田 芳照

今年も、1月20日（土）、21日（日）の両日、妙唱寺大黒天が賑やかに行われました。

自立の会がこの“妙唱寺”に関わって十数年になりますが、今年もいつものとおり、いつものように、境内中央に陣取り、ワイワイ、ガヤガヤ、すっかり“妙唱寺”の風景の一部になっています。そして、自立の会の年次行事は、この1月の、寒い時期の“妙唱寺”から始まります。今年は晴天続きの暖冬で、例年の苦勞が嘘のようでしたが、“妙唱寺”はその準備が一週間前から始まります。まず“妙唱寺”の目玉となっている大釜の手配、搬入、設置作業が大変です。今年も、関谷さんを中心に前原さんが担当しました。次に、買出し調達です。「すみません。うどんならすぐ出来るんですが、そばは今打っている最中なので、あと十分くらい待っていただければ・・・」こんなやり取りが“妙唱寺”なのですが、そのソバ粉、うどん粉の買出し、ドンブリ、割り箸、削り節、醤油、ミリン、油揚げ、揚げ玉、卵、一味、長ネギ・・・などなど。ただ、今年のうどんは、「なすびの里のうどん」を購入して使うことにしました。

さて、当日は、常連メンバーが9時に境内集合。炊事場の設営と大釜の火入れから始めます。秘伝の汁は、醤油、みりん、水と削り節の絶妙な配合で決まります。そして、そば、うどん作り。

「今年はそばだけですから、楽なものです。」とは関谷談。これも関谷さんを中心に別室で粉の練からはじめます。出来上がったそばは大釜の煮え立った湯の中で泳がせるように茹で上げますから言わずと知れた美味しさです。



今年も、お昼時、なすびの里のチャレンジの皆さんが来てくれました。

一人一人の美味しそうに食べている笑顔はとても好いものです。

締め括りに、“妙唱寺”を終えて帰宅すると、臭うのだそうです。大釜の煙が頭のとっぺんからつま先までしみ込んでいて、臭い、これも“妙唱寺”なのです。

# 収益事業報告

妙唱寺大黒天 (1月21~22日)

29,609円

くららフェスタ (3月18)

7,840円

栃木障害者の自立をめざす会

## 第21回定期総会のお知らせ

春暖の候となりましたが、会員の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて第21回定期総会を下記の通り行います。総会後には昼食会も行いますのでぜひご参加ください。ご出席いただける方は、準備の都合上4月20日までに事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

正会員の方には、返信用のハガキを同封いたしますので、欠席の場合は必ず委任状に署名捺印のうえご返送ください。

記

### 第21回定期総会

日時：2007年4月29日 9:30 受付 10:00 開会

場所：社会福祉法人なすびの里

議案：2006年度事業報告及び決算報告

2007年度事業計画(案)及び予算(案)

2007年度役員改選 他

○連絡先 社会福祉法人なすびの里 0282-29-6111 事務局谷田まで

